



第2回学校運営協議会レポート④

今号は、7月の最後に行われた第2回学校運営協議会の2校の様子をレポートします。これで学校運営協議会も「夏休み」に入りましたが、中学生による地域ボランティアが本格的にスタートしますので、今後はそちらもできるだけレポートしていきたいと考えています。



宮和田小学校

<7月23日開催>

1 地域と連携した学校教育について（グループ協議）

夏休み中ということで、ほぼ全員の教員が参加し、委員さんと五つのグループを組み、学校が「困っていること」を伝えました。学校現場の現状を知り、授業参観などでは知り得ない、学校が抱える課題を委員さん方が確認することができた貴重な時間でした。



2 地域学校協働活動について

休憩をはさみ、次は委員さん方だけで、1で確認した学校の支援要望について共有しました。人手不足、目が届かない場面などを中心として、「清掃・休み時間などの見守り」「除草・窓掃除」「読み聞かせや昔の遊びなどの支援」「下校時や放課後の公園などでの児童の見守り」など、先生方から出された課題が全員で共有されました。



3 質疑・意見交換

委員さんからは、上記のような支援要望に対して、どのように地域に発信し協力を募るか、次回の学校運営協議会で協議する内容、こうした地域学校協働活動とグランドデザインに関する協議との関連などの質問が出され、校長先生が回答しました。教員と委員が共に話し合う機会は重要であると感じました。



白山小学校

<7月24日開催>

1 地域の人々の理解と協力を得た学校運営について（グループ協議）

夏休みに入っの学校運営協議会ということで、今回は教員も参加して意見を交わし、解決策や予防策を探った貴重な協議会になりました。

熟議 テーマ「子供たちの安全な生活のために考えられること」

- ・話し合いその1 子供たちの身の回りで起こる危険や心配なことについて
- ・話し合いその2 解決策・予防策について

4グループに分かれて熟議をし、交通安全（自転車の乗り方等）、SNSの使い方、地域とのつながり等、様々な危険や心配なことについて意見が出されました。そして、学校や家庭、地域が連携してどのような解決策や予防策があるか話し合いました。

2 話し合った内容の共有

話し合った内容を整理し、グループごとに発表することで、教員と協議会委員の理解を共有することができました。

3 まとめ

今回話し合った「子供たちの安全な生活のために考えられること」について、地域と力を合わせ、共に活動していくことが大切であり、学校・家庭・地域がより連携して具現化していくことを確認しました。

